

~~~~~  
**お知らせ**  
~~~~~

2年ぶりの『うるう秒』挿入

国際報時局 (BIH) は、協定世界時 (UTC) に「うるう秒」を挿入する日時を UTC の1985年6月末日の最終秒とすることに決めた。

JJY 電波報時などにより日本で通報される標準時 (= UTC+9時間) の時刻信号は、1985年7月1日に、
8^h 59^m 59^s, 8^h 59^m 60^s, 9^h 00^m 00^s, ...

と刻まれ標準時を1秒遅らせることになる。

UTC は原子時の秒を刻み、その時刻は地球の自転に基づいた世界時 (UT1) の時刻との差 (DUT1=UT1-UTC) が ±0.9 秒を超えないように「うるう秒」によって調整されている時系である。今回の「うるう秒」の挿入は前回の挿入 (1983年6月末日) から2年ぶりである。最近一年間の地球自転周期の UTC に対する遅れは、一日当たりほぼ 1.4~1.5 ミリ秒である。この遅れがこのまま続くとすると、3月末現在、DUT1は -0.3 秒であるから6月末日の「うるう秒」挿入時には、DUT1は -0.4~-0.5 秒程度になり、年末の挿入では遅すぎると BIH は判断したと思われる。

国際天文学連合第19回総会 (II)

IAU の第19回総会は、11月19日から28日までインドのデリーでひらかれるが、出席者の旅費の補助について、次のような2種類のものが用意されているとの通知があった。

A. 11月18日-29日間のホテルでの宿泊と食事 (クーポン券による) についての支払いと、登録料の免除。

B. Aの他、航空券の大部分の負担。

Aは200人について、Bは40~50人に対して支給されるが、若い人を優先する。

上記の旅費補助を希望される方は、5月20日 (必着) で下記まで申しこまれたい。なお、member でなく、総会への出席を希望し、招待状のほしい人も同じ日までに申しでてほしい。

2月号で募集した、IAU の member への応募は54人あったが、理学博士取得後3年という基準を原則として、次の37名を IAU に推薦することとした。他の17人の方は、年数がたりなかったということで見送ったので、次の機会に応募されたい。

福田一郎, 羽部朝男, 濱部 勝, 稲谷順司, 春日 隆,

1985年2月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

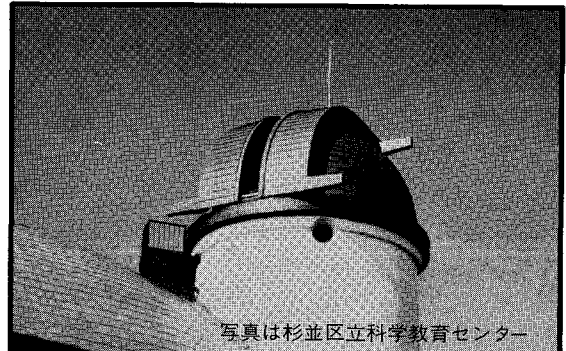
1	2,	7	6	2,	6	11	—,	—	16	—,	—	21	2,	18	26	1,	7
2	2,	16	7	1,	1	12	1,	3	17	—,	—	22	2,	17	27	2,	6
3	2,	17	8	—,	—	13	1,	8	18	1,	1	23	2,	15	28	—,	—
4	2,	11	9	—,	—	14	2,	12	19	—,	—	24	1,	4			
5	—,	—	10	3,	11	15	2,	12	20	—,	—	25	1,	7			

(相対数月平均値: 18.9)

昭和60年4月20日	発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所	〒162 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12	啓文堂 松本印刷
定価 450 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
		電話 三鷹 31 局 (0422-31) 1359	振替口座 東京 6-13595

加藤万里子, 川端 潔, 川良公昭, 小林行泰, 小玉秀雄, 小杉健郎, 小山勝二, 前田耕一郎, 牧島一天, 観山正見, 水野 舜, 森田一彦, 村上敏夫, 中島 弘, 中村泰久, 新美幸夫, 西田実継, 西村雅樹, 小田直樹, 小川原嘉明, 奥田 亨, 尾中 敬, 西城恵一, 佐々木 節, 柴崎清登, 鈴木博子, 高原まり子, 浮田信治, 渡辺鉄哉, 山口七郎, 山越知雄, 吉田春夫

日本学術会議
天文学研究連絡委員会
委員長 古在 由秀
〒181 三鷹市大沢 2-21-1
東京天文台



写真は杉並区立科学教育センター

★営業 ASISO 品目★
**天体望遠鏡と双眼鏡
ドームの設計と施工**

▶主なドーム納入先◀

東京大学宇宙航空研究所 / 東京大学教養学部 / 東京学芸大学 / 埼玉大学 / 福島大学 / 川崎市青少年科学館 / 杉並区立科学教育センター / 駿台学園高校 (北軽井沢) / 船橋市立高校 / 高知学園 / 土佐市公民館 / 刈谷市中央児童館等の他、日本全国に100余基の実績。

アストロ光学工業株式会社

東京都豊島区池袋本町2-38-15 ☎03(985)1321